

2011年度受託研究概要報告

**工楽松右衛門が開発した松右衛門帆を使い工楽松右衛門が携わった港
(鞆の浦、函館、エトロフ、兵庫港など)を調査・研究し新柄の製作並びに商品開発**

研究メンバー

野口正孝 ファッションデザイン学科教授

委託者

高砂ブランド協会

研究概要

平成22年度の受託研究で再現した「松右衛門帆」を用いて新しい織柄を工楽松右衛門が港湾建設に携わった鞆の浦、函館、択捉、神戸港をイメージして開発する。

開発した松右衛門帆を用いてトートバッグ、ポーチ等の製品開発を行う。

高砂市が生み出した偉人「工楽松右衛門」や日本で初めての近代的帆布である「松右衛門帆」という地域資源の活用による高砂市の活性化を図る。

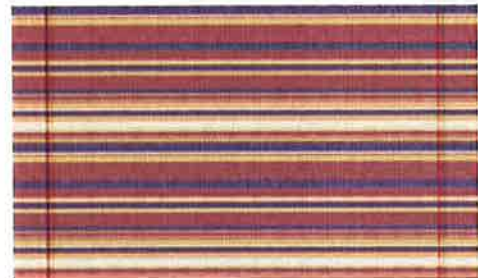
研究成果

「松右衛門帆」の新織柄を「鞆の浦」、「函館」、「択捉」、「神戸」それぞれの土地、歴史、雰囲気をイメージして開発した。

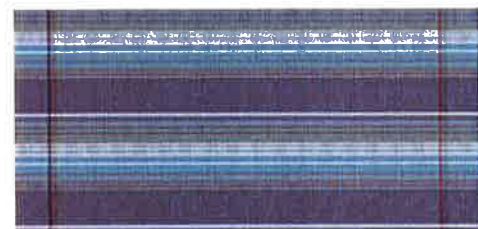
平成22年度に開発した「seasky」「sunset」「sable」「pinewood」の4柄とともに新規開発した4柄を加えて松右衛門帆を用いてトートバッグ、ポーチ等の製品開発を行った。

開発した製品は、高砂ブランド協会が山陽電鉄高砂駅前開設している「観光案内所ちちり」やWebSite「松右衛門帆」<http://matsuemon-ho.com/>等で販売を行っている。高砂市は、同市出身の偉人「工楽松右衛門」や日本で初めての近代的帆布である「松右衛門帆」という地域資源の活用による地域の活性化を図る試みを開始した。

松右衛門が港湾工事を行った港をイメージして作った織り柄



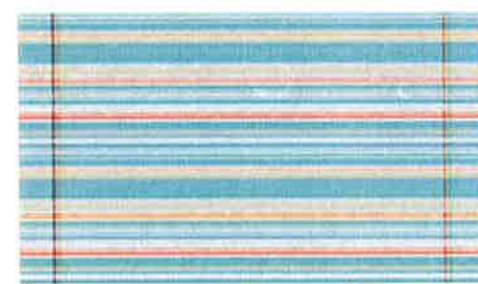
鞆の浦



函館



択捉



神戸



写真1 2011年度に開発した新柄のポーチ